

平成 20 年 5 月 24 日



国際生物学オリンピック 2009 組織委員会



国立大学法人筑波大学

**「第 20 回国際生物学オリンピック」開催記念
「つくば生物研究コンテスト-IBO2009 つくばに向けて-」 コンテスト結果のお知らせ**

国際生物学オリンピック 2009 組織委員会、筑波大学、日本科学技術振興財団は、5 月 24 日、筑波大学(茨城県つくば市)において「つくば生物研究コンテスト」を開催しました。ポスター発表には、中学校、高校から166人が参加しました。審査の結果、金賞には佐野日本大学高等学校の「木材の組み合わせによる動きの研究」～松かさの動きの応用～と茨城県立水戸第一高等学校の「シラカシ林におけるアキノギンリョウソウの菌根の形態と菌類の子実体の空間分布」が、エントリー数 28 点の中から選ばれました。詳細は以下のとおり。

「つくば生物研究コンテスト-IBO2009 つくばに向けて-」結果一覧

受賞	学校名	ポスタータイトル
金賞	佐野日本大学高等学校	「木材の組み合わせによる動きの研究」～松かさの動きの応用～
金賞	茨城県立水戸第一高等学校	シラカシ林におけるアキノギンリョウソウの菌根の形態と菌類の子実体の空間分布
銀賞	茗溪学園高等学校	識別珪藻群法と水中細菌検査による桜川の環境評価
銀賞	早稲田大学高等学院	タンパク質合成をすばやく止めてエネルギーの無駄使いを防ぐ機構の発見!
銅賞	茨城県立竹園高等学校 (環境班)	花室川の水生生物による環境調査(13年次)
銅賞	神奈川県立西湘高等学校, 神奈川県足柄上郡大井町立 湘光中学校	カタツムリにおける天気と位置に関する研究
特別賞	水戸市立国田中学校	ゲンジボタルの成育条件と生存率3-上陸,羽化, 産卵における光の影響 Part2-
敢闘賞	茨城県立下館第一高等学校	『アサガオ 染め分けと花卉の変異の研究(花の色と形)』
敢闘賞	國學院大學栃木高等学校	スギ花粉を追って
敢闘賞	茨城県立竹園高等学校 (ボルボックス班)	プレオドリナ(<i>Pleodorina californica</i> Shaw)の娘群体形成過程
敢闘賞	茨城県立並木高等学校	穴塚大池におけるブルーギルの繁殖生態 ~ 産卵場所の特定による外来魚の効果的な駆除法の確立をめざして ~
敢闘賞	千葉県立東葛飾高等学校	クマムシの飼育方法および生態に関する研究
敢闘賞	茨城県立岩井高等学校	坂東市周辺のアブラコウモリの生息調査
敢闘賞	茨城県立水戸第二高等学校	ミドリゾウリムシとボルボックスの集光性に関する研究
敢闘賞	茨城県立水戸第二高等学校	シロアリの研究
敢闘賞	早稲田大学本庄高等学院	鉄バクテリアのインジウムに対する特性
努力賞	茨城県立緑岡高等学校	ネンジュモの研究~吸水・乾燥と光合成色素について~
努力賞	茨城県立竹園高等学校 (遺伝子班)	エンドウマメの「まる-しわ」形質の比較
努力賞	茨城県立並木高等学校	大学や研究機関との協力による授業への取り組み ~遺伝子やバイオテクノロジーを学ぶ~
努力賞	茨城県立海洋高等学校	身近な微生物の同定
努力賞	茨城県立鉾田第二高等学校	パン酵母を利用した組換え DNA 実験キットの実践
努力賞	千葉県立東葛飾高等学校	水中プランクトンの観察
努力賞	茨城県立土浦第一高等学校	生物部の環境学習活動
努力賞	神奈川県立鶴見高等学校	「校内 NGO 活動」-生物・環境部門-
努力賞	茨城県立水戸第三高等学校	田んぼの微生物
努力賞	芝浦工業大学柏高等学校	遺伝子組換え実験における大腸菌とDNA導入方法について
努力賞	芝浦工業大学柏高等学校	大腸菌によるGFP合成と抗生物質によるセレクションについて
努力賞	茨城県立日立第一高等学校	土壌による分解についての予備的な探求
選考対象外	筑波大学生物学類	紫外線照射が植物の光合成機構に与える影響について

【金賞受賞者のコメント】

佐野日本大学高等学校

渡辺 大貴（わたなべ だいき）さん（同校3年）のコメント

「まさか、自分がとれるとは思わなかった。大きな声で発表できたことと、当たり前前のことをちゃんと出来たのがこの結果を結んだのだと思う」

茨城県立水戸第一高等学校

戸祭 森彦（とまつり もりひこ）さん（同校生物同好会部）のコメント

「発表では自分の言いたいことをいえたので満足、その上賞をもらったので大満足で家に帰れます」

【審査員】

【専門審査委員（筑波大学生物学類教員）5名】

審査委員長 佐藤 忍（生理学、生化学）
濱 健夫（生態学、海洋学、湖沼学）
小野 道之（植物発生学、生理学）
町田龍一郎（系統分類学）
鈴木 石根（生理学、生化学）

【外部審査委員5名】

柿沼 宜夫（つくば市教育委員会教育長）
石黒 正美（つくば市教育委員会指導課指導主事）
奥谷 雅恵（つくば市教育委員会指導課指導主事）
神崎 亮平（東京大学先端科学技術研究センター教授）
赤池 学（科学ジャーナリスト、UDI 所長）

【審査員の講評】

佐野日本大学高等学校

佐藤 忍氏のコメント・・・「自分の手を動かし、自分の目で確かめ、自分の頭で考える、科学研究の醍醐味が感じられる素晴らしい研究である」

神崎 亮平氏のコメント・・・「非常に興味あるテーマ設定と思われる。科学と歴史そして人類の知恵を彷彿とさせる」

赤池 学氏のコメント・・・「個人の研究でありながら全ての点で優れている」

鈴木 石根氏のコメント・・・「松かさから木材の動きへ研究を進展されたことはとても良かったと思う」

茨城県立水戸第一高等学校

町田龍一郎氏のコメント・・・「よく考察して着実な成果に突き進む態度、すばらしい」

奥谷 雅恵氏のコメント・・・「理論の展開の仕方がとても良かった」

濱 健夫のコメント・・・「これまで報告はあるとしてもおもしろい現象に目をつけている」

【副賞】

〈金賞〉

- ・ 「キャンベル生物学」(小林興監訳、丸善株式会社)
- ・ 「藻類30億年の自然史 藻類から見る生物進化・地球・環境 第2版」(井上勲著、東海大学出版)
- ・ 「ミトコンドリア・ミステリー」(林純一著、講談社)
- ・ 「生物学オリンピック問題集 解説・公式ガイド付き」(国際生物学オリンピック日本委員会編、羊土社)
- ・ 双眼鏡 (tasco)

「キャンベル生物学」とは、

米国で最も有名なテキストであるのみならず、国際生物学オリンピック(IBO)が公式に推薦するテキストとして紹介しています。翻訳語版は日本初の出版。オールカラーの完訳。

〈銀賞〉

- ・ 「藻類30億年の自然史 藻類から見る生物進化・地球・環境 第2版」(井上勲著、東海大学出版)
- ・ 「ミトコンドリア・ミステリー」(林純一著、講談社)
- ・ 「生物学オリンピック問題集 解説・公式ガイド付き」(国際生物学オリンピック日本委員会編、羊土社)
- ・ 双眼鏡 (tasco)

〈銅賞〉

- ・ 「生物学オリンピック問題集 解説・公式ガイド付き」(国際生物学オリンピック日本委員会編、羊土社)
- ・ 双眼鏡 (tasco)

〈特別賞〉

- ・ 「キャンベル生物学」(小林興監訳、丸善株式会社)

<参考資料>

● 第20回国際生物学オリンピック開催概要

名 誉 総 裁 : 本大会の名誉総裁には、秋篠宮文仁親王殿下がご就任されています。

名 称 : 第20回国際生物学オリンピック
(The 20th International Biology Olympiad)

略 称 : IBO2009 つくば (IBO2009 Tsukuba)

主 催 : 国際生物学オリンピック2009組織委員会
国立大学法人筑波大学
財団法人日本科学技術振興財団

共 催 : 茨城県、つくば市、筑波研究学園都市交流協議会、
財団法人つくば科学万博記念財団

特 別 協 賛 : 独立行政法人科学技術振興機構(申請予定)

協 力 : 財団法人倶進会

後 援 : 文部科学省、内閣府、外務省(申請予定)、厚生労働省(申請中)、農林水産省、
経済産業省、環境省、日本学術会議、茨城新聞、
NHK水戸放送局、IBS茨城放送、常陽新聞(申請中)、常陽リビング

協 賛 : ダイヤモンドスポンサー: 武田薬品工業株式会社
プラチナスポンサー: アサヒビール株式会社、アステラス製薬株式会社、エーザイ株式会社、
大塚製薬株式会社、協和醗酵工業株式会社、
キリンホールディングス株式会社、塩野義製薬株式会社、
大正製薬株式会社、田辺三菱製薬株式会社、
中外製薬株式会社、日本たばこ産業株式会社
ゴールドスポンサー: 株式会社日立製作所、株式会社ベネッセコーポレーション、
大日本住友製薬株式会社、浜松ホトニクス株式会社
シルバースポンサー: 株式会社日清製粉グループ本社、
財団法人微生物化学研究会、シスメックス株式会社、
社団法人日本動物学会、テルモ株式会社、日清オイリオグループ株式会社
林原グループ
ブロンズスポンサー: オムロン株式会社株式会社、海洋バイオテクノロジー研究所、
株式会社トミー精工、株式会社文英堂、財団法人放射線影響協会、

シマダヤ株式会社、社団法人日本理科教育振興協会、
日本製粉株式会社、日本ミリポア株式会社、堀場製作所株式会社
ほか、48 社企業・団体、個人寄付者 (5月23日現在)

開催期間 : 2009年7月12日(日)~7月19日(日) 8日間

開催場所 : 茨城県つくば市(筑波大学を中心としたつくば研究学園都市)

参加国数・参加人数 : 参加国数:60カ国(予測)
各国代表生徒:240名(各国4名まで)
各国リーダー・オブザーバー:200名(予測)
主催国スタッフ:100名

● 全国生物学コンテスト「生物チャレンジ2008」 申込受付 6月10日(火)〆切

全国生物学コンテスト「生物チャレンジ2008」(主催:国際生物学オリンピック日本委員会 (JBO))は、第20回国際生物学オリンピック日本代表選考会を兼ねています。

JBOホームページ <http://www.jbo-info.jp/>

<問い合わせ先>

【コンテストに関する件】

国際生物学オリンピック 2009 組織委員会 実行委員会事務局
担当 岩本、中山
筑波大学生物科学系内 生物学オリンピック窓口
〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1
TEL&FAX 029-853-5825
E-mail ivanov@biol.tsukuba.ac.jp

【国際大会全般に関する件】

国際生物学オリンピック 2009 組織委員会事務局
担当 中野、水野
公式ホームページ http://ibo2009.org/index_j.html
〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2番1号
財団法人日本科学技術振興財団内
TEL 03-3212-8477
E-mail ibo2009@jsf.or.jp